

## 国民健康保険データベースを用いた慢性腎臓病の疫学調査

多摩市在住で、2014年1月1日～2022年12月31日の間に、健診・医療・介護のいずれかを利用した国民健康保険または後期高齢者医療保険加入者で40歳以上の方

### 研究協力をお願い

日本医科大学多摩永山病院腎臓内科では「国民健康保険データベースを用いた慢性腎臓病の疫学調査」という研究を行います。この研究は、多摩市在住で、2014年1月1日～2022年12月31日の間に、健診・医療・介護のいずれかを利用した国民健康保険または後期高齢者医療保険加入者の方の慢性腎臓病に関する疫学調査をする研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡ください。なお、この研究は個人を特定することができないため、ご参加取り消しの要望には応じられません。ご了承ください。

#### (1) 研究の概要について

研究課題名：国民健康保険データベースを用いた慢性腎臓病の疫学調査

研究予定期間：研究機関の長の実施許可日～2029年9月30日

調査対象期間：2014年1月1日～2022年12月31日

研究責任者：日本医科大学多摩永山病院 腎臓内科 金子 朋広

#### (2) 研究の意義、目的について

多摩市民のデータベースを用いて慢性腎臓病に関わる地域特異的な疫学情報を知ることにより、慢性腎臓病が悪化することによるデメリットを様々な面から調査します。症状が出にくい慢性腎臓病の治療に対する意義を明らかにすることにより、早期から治療開始するモチベーションが向上し、ひいては透析が必要となる患者さんが減少することを期待しています。

#### (3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

2014年1月1日～2022年12月31日までに多摩市の医療機関を受診した国民健康保険および後期高齢者医療保険加入者の方の慢性腎臓病に関する疫学調査をする研究で、多摩市から提供された匿名化されたデータを使用します。受診者の慢性腎臓病の重症度を分類し、併存疾患の合併率、医療費・歯科医療費、薬剤処方数、介護認定の有無などを調査します。さらには経時的な死亡率、脳・心血管疾患発症率、骨折発症率、介護認定の発生率、認知症発症率、透析導入率などを算出します。この研究は、研究対象者の方の以下の試料・情報を用いて行われます。

試料：なし

情報：多摩市から提供された匿名化データ（国民健康保険データベース）に含まれる国民健康保険および後期高齢者医療保険加入者の方の年齢、性別、ICD-10 または診療報酬明細書（レセプト）の電算コードから得られる病名、薬剤コードから得られる薬剤名、診療報酬点数などの集計データ。

#### (4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

#### (5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

#### (6) 問い合わせ等の連絡先

担当者：腎臓内科 金子 朋広

日本医科大学多摩永山病院 倫理委員会事務局

〒206-8512 東京都多摩市永山1丁目7-1

電話番号：042-371-2111（代表） 内線：2302

メールアドレス：nagayama-chiken\_center@nms.ac.jp